

看護人材の確保と資質の向上に係る
検討の方向性

第7次保健医療計画

(医療人材の確保と資質の向上)

【基本的な考え方】

高齢者人口の増加、医療の高度化・専門化、社会環境の変化等に伴い、在宅療養を含む医療需要の一層の増加が見込まれる中で、都民ニーズに応えるため、各職種の特徴や地域の特性などを踏まえ、保健医療を担う人材の確保と資質の向上を図る。

【取組の方向性】

看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）

1 養成対策

- 看護需要に対応した養成の促進

2 定着対策

- ライフステージに応じた支援策の充実
- 各専門分野や課題に対応した研修の充実等による質の高い看護職員の育成

3 再就業対策

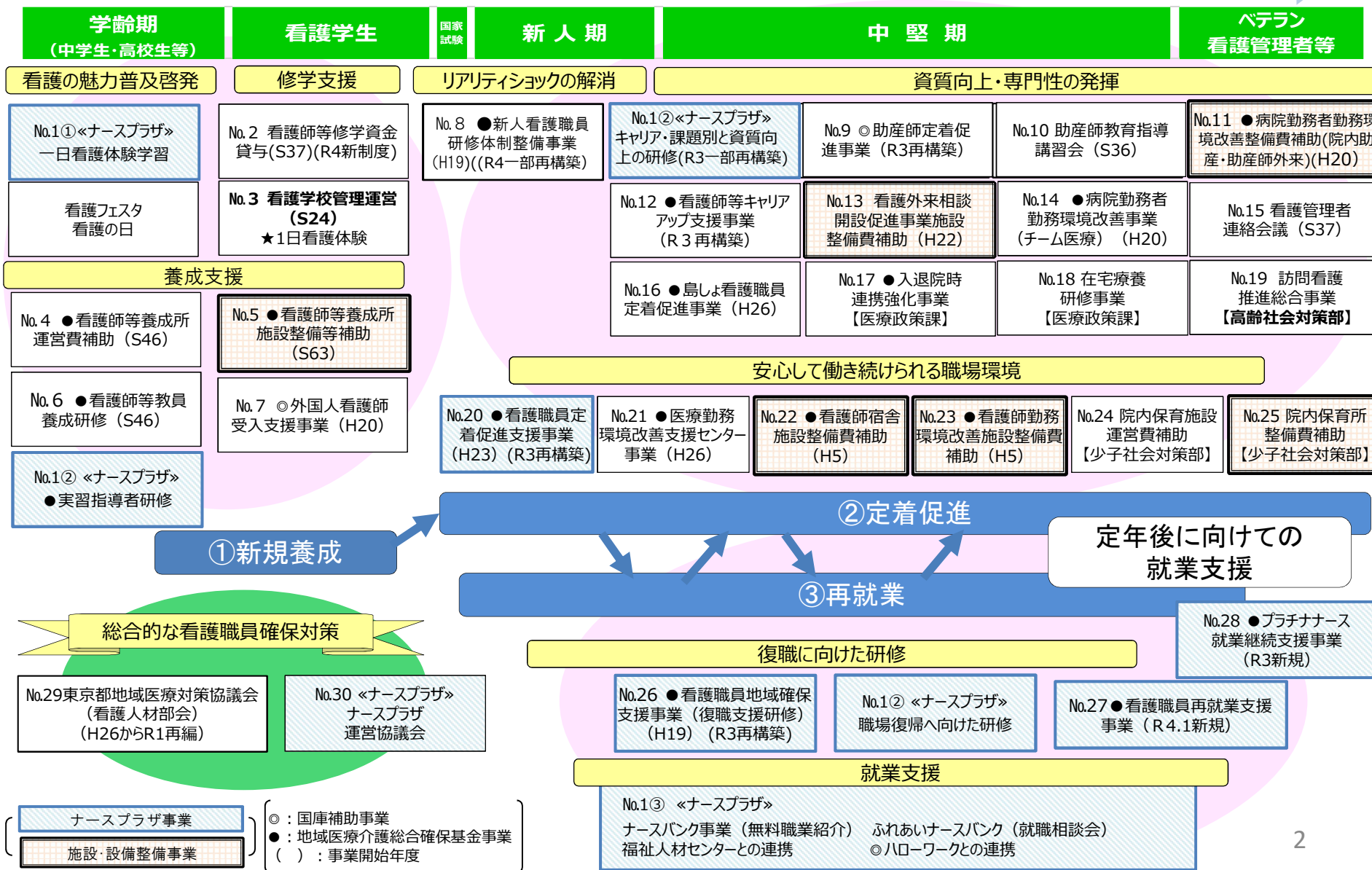
- 復職しやすい環境の整備

4 訪問看護を担う人材

- 訪問看護師の人材確保等に向けた支援

ライフステージに応じた東京都看護人材確保対策

ライフイベントに応じ、多様な職場でキャリアを継続することができるよう、看護職員を支援



課題と検討の方向性（養成対策）

【課題】

- 若年人口の減少による養成数の大幅な拡大は困難
- 都内への就業促進が必要



【検討の方向性】 看護需要に対応した養成策の促進

- 看護職を目指す人材を確実に確保する取組の推進
- 都内新規就業者を確保するため、看護師等養成所卒業者の都内就業を促進

課題と検討の方向性（定着対策①）

【課題】

- 30歳代から40歳代が育児等を理由に減少、45歳以上になると介護等により看護職員が段階的に減少
- 定年後の看護職員の潜在化を防止し、就業促進が必要

【検討の方向性】 ライフステージに応じた支援策の充実

- 看護職員が働き続けられる勤務環境の改善促進
- 新人期・中堅期・ベテラン期など、経験に応じたサポート体制の充実
- スキルアップ・キャリアアップを望む看護職、出産・育児等のライフステージに応じた働き方を望む看護職など、多様なニーズに対応した働き方の支援
- 定年後（プラチナナース）に向けての就業支援

課題と検討の方向性（定着対策②）

【課題】

- 医療技術の高度化や専門化等に対応できる看護職員の育成が必要
- タスク・シフト／シェア（チーム医療）推進の必要



【検討の方向性】 質の高い看護職員の育成

- 各専門分野や課題等に対応した研修の充実を図り、特定行為研修修了者その他専門性の高い看護職員の育成等を支援

課題と検討の方向性（再就業対策）

【課題】

- 育児等の時間的制約や離職による技術的不安を抱えていることなどにより、復職が進んでいない。
- 再就業希望者の希望雇用形態は非常勤や短時間勤務が過半数



【検討の方向性】 復職しやすい環境の整備

- 再就業希望者のニーズに合わせた働き方の提示により、職場復帰を促進
- 潜在看護職の再就業意欲を促進

課題と検討の方向性（訪問看護）

【課題】

- 都内訪問看護ステーション数は令和2年4月1日時点で1,267か所と年々増加
- 訪問看護ステーションは小規模事業所が多く、教育体制の充実や勤務環境向上を図ること等に対し小規模事業所では限界あり



【検討の方向性】 訪問看護師の人材確保等に向けた支援

- 訪問看護師の人材確保・育成・定着のための取組や訪問看護ステーションの運営・多機能化等のための支援を推進